



無事、春休みの集中講義を突破し、留年を免れたあなた達。新学期も4分の1が経過していることに気が付きました。昨年の轍を踏まぬよう前期のうちにきっちり単位を取っておきたいと考えるあなた達は、中間試験明けからまたあのゲームを始めるようです。前回の雪辱に燃えるもの、今回も一夜漬けて切り抜けようとするもの...そしてそこに新しい同居人の影が...



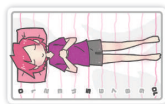
## 内容物

授業カード：20枚（6種）



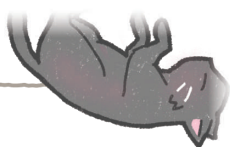
## 基本ルールからの変更点

本ゲームでは、**追加の授業カード20枚**を足した47枚で行います。基本的なゲームの流れは一緒ですが、受講フェーズを4ラウンドではなく、**8ラウンド**で行います。ラウンドの記録には同封の名刺の裏を使います。また、オフトウンカードがそれぞれ猫のいる面、いない面がありますが、**両方ともいない面**にしてゲームをスタートして下さい。



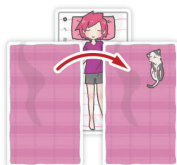
カードの効果によって「サボる」が選択できない場合がありますが、体力が0の時に限りその場合でも「サボる」を必ず選択してください。

# 特殊なカード



## 猫のいる生活

猫のいる生活を獲得した場合、敷き布団または掛け布団カードのいずれかを猫がいる面を上にしてください。猫がいる場合、暑い日がめくれたときに余計に体力が減少します。猫のいる生活を何枚持っていても追加の減少量は1です。猫のいる生活による得点は下記の通りになります。



	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚
1枚ごとの得点	10	20	30	40	50
猫のいる生活の合計得点	10	40	90	160	250



## 図書館で頑張る/図書館で程々

このカードを獲得した場合、そのラウンドで出した**起床カード**をこのカードの下に重ねます。この下に重ねた**起床カード**は試験フェイズに集める際にもこのカードの下に保持します。

得点計算時には、このカードの得点は「カードに記載されている点数+このカードの下にある**起床カード**に書かれている試験フェイズの点数」となります。



例) 「図書館でほどほど」の下に「ふつうにおきる」がある場合  
 合図書館でほどほどの点数(20)+ふつうに起きる(20)=40となります。

